

荒小学校だより

教育目標 学ぶ子 高まる子 きたえる子



柏崎市立荒浜小学校

柏崎市荒浜1丁目2番11号

TEL 0257 (23) 6611

FAX 0257 (23) 6982

←ときどき更新中…

2025.3.5 No.507

荒浜小の子どもたちのよさ

校長 笠原道宏

新校舎へ子どもたちが移動し、新しい生活がスタートしました。便利になった部分は多いですが、校舎使用のルールは全く新しいものとなる部分があります。避難経路にしても、掃除の仕方にしても全く新しくなります。

新校舎移転が目前に迫り、今までなかった設備や環境について、どのように使用ルールを決めていくのか考えました。いざという時の防災拠点でもあるので、エレベーターや防火シャッター・多目的トイレの救急用スイッチなども子どもが触れるところにあります。これらのスイッチを押すと、職員室のブザーが鳴り緊急連絡が入ることとなっています。子どもが180人いればいろいろなことが起こります。最初はこうしたところすべてに「さわらない」と張り紙を張ろうかと思いましたが、しかし、これらのスイッチ類に対策しただけで心配が消えるわけではありません。この棚に登らないだろうか？隙間に手を突っ込む子がいらないだろうか？いろいろな心配に対応するためには、膨大な「～しない」のルールと張り紙が必要なことが予想されました。

でも、それはやめました。2月12日のスタートの日には、次のようにメッセージを伝えてあります。

「荒浜小は…みんなは、建て替えの学校に選ばれたんだということをまずは知っておいてください。その期待に応えてほしいです。そのためには最初が肝心です。この校舎をどう使うかがとても大事です。よく考えてください。みんなならできるはずです。よく考えて、それをしたらどうなるか予想して想像して、誰かに迷惑がかからない自分自身もケガをしったり困ったりしない。そんなふうに過ごしてください。」

今日まで、職員室の緊急ブザーが鳴ったことはありません。エレベーターも給食物資運搬のために正常に動いています。今までよりずっと落ち着いた静かな朝読書や給食の時間、廊下を楽しそうに、でも静かに歩行する姿から、学校生活を大切に過ごそうとする意識が強く感じられます。「みんなならできるはず」と差し伸べた信頼という名の握手を、しっかり握り返してくれた。そんな感じがしています。

荒浜小学校の子どもたちのよいところは「素直」なところではあります。私は着任してからずっとそう感じています。「純朴」なところでもあります。信じて任せればそれに応えようとする。そんな純粋さが大好きです。

令和6年度ももう少しで終わります。地域の皆様・保護者の皆様に支えられここまで教育活動を進めることができましたことに感謝申し上げます。次年度も、変わらぬ御支援・御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。